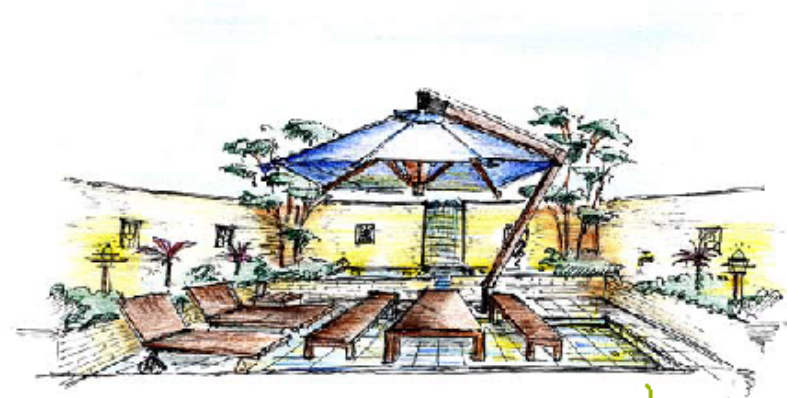




「田園都市生活」2007年夏号
「庭の可能性について考えてみる」にて
ガーデンデザイナー千田の
コラムVOL.8が掲載されました

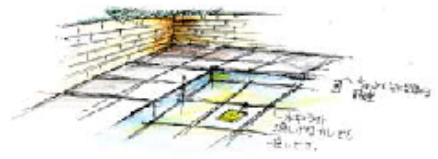
今回のデッサンは、K邸のお庭をアレンジしたものです。
(写真は2ページ目に)

夏のお庭は、暑くて過ごしづらいと感じられる人も多いようです。それなら水の冷却効果を利用してみてはいかがでしょうか」と千田氏。屋外であるメリットを活かして、床に段差を設けてそこへ水を張るといったアイデアだ。空間が冷やされるだけでなく、素足で過ごせば体もクールダウンでき、照明などを施してより涼しげな雰囲気も演出できる。真夏の暑さも、ちょっとした工夫でより快適に。



水がもたらす清涼感で
夏庭を心地よく楽しむ

夏に欠かせないのが、陽射しと暑さ対策。あらかじめ作っておいた段差に水を流める、水中フットで清涼感を演出するなどの他にも、縁取やパワングレイドで陽射しをよける、涼しい風を発生させておいて風通しを良くするなど、快適に過ごすためのヒントはいっぱいありそう



デザイナー
千田 健児さん
グリーンルームのデザインを手掛けるガーデン・デザイナー。原をひとつの部屋としてとらえ、住み手にとって心地よく過ごせる空間づくりを追求している。
問 | GREEN ROOM
TEL04-952-6663
http://www.green-room.jp/

グリーンルームとは?
庭をひとつの部屋として考える。「グリーンルーム」とは、そんな発想から生まれた。庭の敷地概念を一新するアイデアだ。壁内と床の高さを揃え、ほどよい高さの窓を設けることで、これまで家の外にあった「庭」が、家の中とつながるもうひとつの部屋「グリーンルーム」に生まれ変わる。光や風を感じながら、カフェタイムを楽しんだり、趣味に没頭したりと、楽しみ方はさまざま。「グリーンルーム」には、涼みに満ちた時間が流れている。

機能的な屋外空間が暮らしに彩りを添える
家の外側に庭を造るのではなく、家の中とのつながりを持つ機能的な空間を、そんな庭づくりの新しいアイデアから生まれた。屋根のない部屋「グリーンルーム」。室内との段差をなくして自由に行き来できるだけでなく、外からの視線をさえぎる囲いを設けてプライベート感も保たれた「グリーンルーム」は、さながら屋外に作られた「もうひとつの部屋」だ。
「どんな空間にするかは住み手次第。テラスやイスを置けば暮らしの空間になるし、そこに友人を招いてもてなす、特別な場所にしても楽しいのでは。自分らしい空間が屋外にあることで、暮らしの幅もグッと広がるのではないのでしょうか。グリーンルーム」にしかできない、新しい庭づくりの楽しさを味わって欲しいですね」とデザイナーの千田健児氏は語る。ライフスタイルに十の個性

価値生まれる「グリーンルーム」は、これまでにならぬ暮らしに彩りを添えてくれるはずだ。
水の効果を利用して、真夏でも心地よく過ごす
そこで今回は、グリーンルームをもっと楽しむ、もっと活用するヒントを千田氏に伺ってみた。グリーンルームは、涼みに満ちた空間に、さらさらとした風や光が感じられる。これまでにならぬ空間でも、夏は暑くて過ごしづらいと感じられる方も多くいます。それなら水の冷却効果を利用してみてはいかがでしょうか」と千田氏。屋外であるメリットを活かして、床に段差を設けてそこへ水を張るといったアイデアだ。空間が冷やされるだけでなく、素足で過ごせば体もクールダウンでき、照明などを施してより涼しげな雰囲気も演出できる。真夏の暑さも、ちょっとした工夫でより快適に。そんな「グリーンルーム」のある暮らしは、くつろぎとゆとりに満ちたものに違いない。

住宅を自宅として、
ボード、家具、照明、ファブリックにいたるまで
「デザインのある」と質を追求し、各
トータルに提案します。



夜のモデルハウス見学会
夜間はイメージが湧かない
夜のモデルハウスを見学して家づくりの
イメージが湧きます。
「夜のモデルハウス見学会」お申し込み
7月18日(月)〜21日(木)
日本橋区上野4-10-10 上野駅前ビル4F 会場

お申し込み先
TEL: 0120-074-186
TEL: 0120-073-176



euro
EURO J SPACE

フリーダイヤル: 0120-074-186

東京都江東区北江島1-10-10 KITAHAMA GREEN 2F
あごみ野モデルルーム
TEL: 03-5561-0017
TEL: 03-5561-0018

リフォーム
EURO HOME
ガーデン
GREEN ROOM

リゾートを創る、 ということ。

ブチホテルのような、
どこかのリゾートのような空間。

なぜか、早く帰りたい。
週末、庭で食事をするのが楽しみになる。
そんな家を作りたい。
建築デザイン―価値性―はそう考えています。
あの時見た風景、忘れられない景色。
好きな色、インテリアデザインの趣味。
お客様の内に住むべき家の答えがあります。
デザイン―と対話をする中で、
今まで言語化できなかったモノ、自分では
ホチキスすることができなかったモノが
次々と浮かび上がってきます。
お客様が住みたい家と一緒に語る。
それがホチキスになっていく瞬間を味わう。
そんな楽しい家づくりを実現するために、
徹底的にお客様と向き合います。
高いデザイン性と機能性を兼ね備えながら、
次の世代まで愛用を持って住み続けていた
だけの住まいを作りあげています。
素材はもちろん、空間全体のカラーバランス、
インテリアや照明、ファブリックにいたるまで
見えないこだわりをカタチにしていきたいと思いますか？

